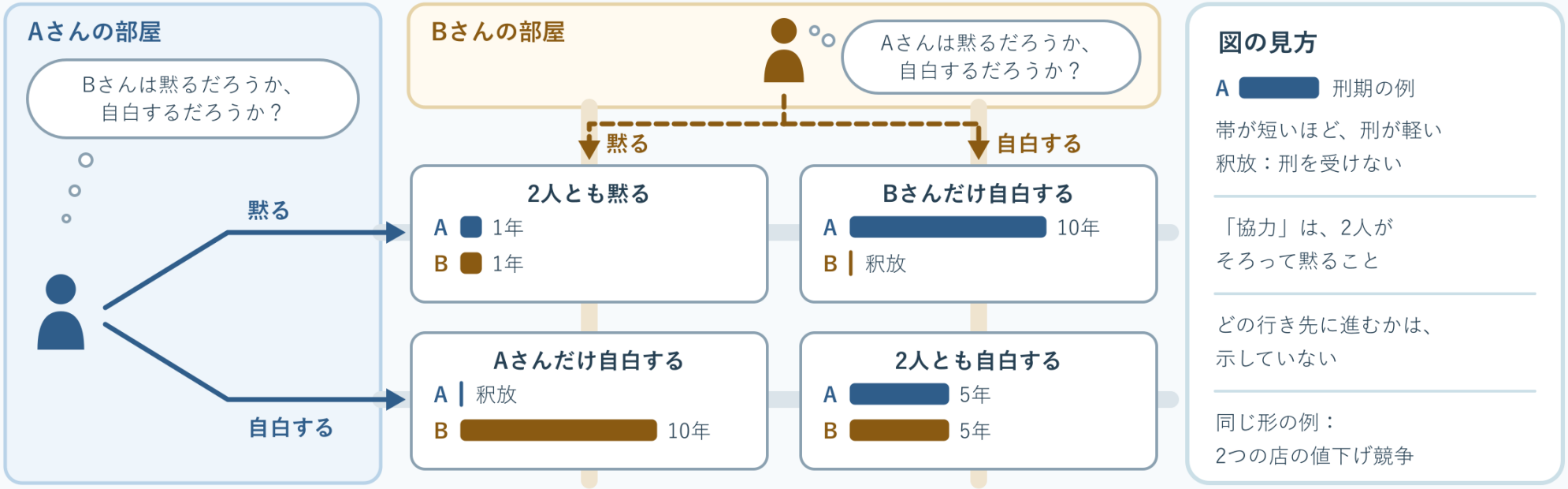
2人とも協力すればよいのに：囚人のジレンマ

別々に取り調べを受ける2人は、黙るか自白するか、どちらを選ぶと考えられるか

思考実験

場面：証拠がないなか、一緒に罪を犯した2人が別々に取り調べを受け、自分に有利で相手に不利な条件で自白をすすめられる



図の見方

A ▬ 刑期の例

帯が短いほど、刑が軽い

釈放：刑を受けない

「協力」は、2人が
そろって黙ること

どの行き先に進むかは、
示していない

同じ形の例：
2つの店の値下げ競争

この場面の条件

1. 相手と話し合えない（別々の部屋）
2. 相手が黙ってくれると信頼できるか、分からない
3. 選ぶのは1回だけ

もし条件が変わったら、選び方は変わるか

1. もし、前もって2人で話し合えたら？
2. もし、約束と、破ったときの決まりがあったら？
3. もし、同じ2人で何度もくり返すとしたら？

※ 思考実験。刑期は例で、実際の刑罰の制度とは関係ない。どちらを選ぶかの答えは示さない。人物は記号。